



ほった・けいすけ 1990年9月、米原市生まれ。大学卒業後計8年間、彦根、守山市で発掘調査に取り組み。直木賞作家の今村翔吾さんの後任を募集していた守山市埋蔵文化財センターに入った。趣味はドローンの操縦。現在では遺跡の空撮をするなど、仕事にも生かしている。

育った。幼い頃から「いつかは考古学に関わりたい」と思っていた。 「県内で遺跡発掘をしたい」と

同志社大文化情報学部に進学して考古学を専攻。大学二年で、校舎の一部建て替え工事に伴う発掘調査を手伝った。卒業論文で「近江の山城の地域性」を取り上げ、県内にある安土時代の山城の防御性能や地域性を調査した。大学での経験から

「権力者の遺跡が多く、彦根と比べ守山では、弥生、古墳時代の権力者層の墓が多く、調査する機会が増えている。一九九二年には、市内の正福寺遺跡で未完成状態の木製の鋏を発掘した。出土例は少なく、県外の博物館の学芸員らが見学に来て「大変貴重だ」と声を上げた。

夏は熱中症、冬ははいてつく寒さに体力を奪われる。きつい、汚い、危険の「3K」職場とも言われる。土器は発掘後に酸素に触れ、水洗いで変色や模様が落ちる。誰よりも先に掘り当て、きれいな状態で見られるのが一番のやりがいでいた。

前任者は一月に直木賞を受賞した今村翔吾さん(30)。センターの岩崎茂所長(60)からは「次は君の番だね。ノーベル賞でも取るか」と冗談交じりに声を掛けられることも。「イグ・ノーベル賞なら」と堀田さん。 「発掘では、今村さんに負けないくらい成果を上げたい」

発掘調査やりがい

発掘作業をするシルバー人材センター調査員。米原市のJR米原駅前



雪が降る中、足元を気にしながら歩く人。長浜市のJR長浜駅前。雪かきに追われる人々。長浜市木之本町の木之本宿で



員らが手押し機械で歩道の除雪に当たった。米原市内の住宅街でも、市民らが自宅の屋根や道路の雪かきに追われ、「この冬はずっと降ってほしい」といねい。「量も多いし、こんなに降るのは何年ぶりやろう」と疲れた様子だった。 長浜市木之本町の木之本宿周辺では、六日朝時点で約七〇センチの積雪があり、人の胸の高さほどになる場所もあった。五日から四回雪かきをしたという郵便配達員の五十代男性は「年末年始の大雪よりすごい。今日配達があったら大変だった。今年はこれで最後になってくれないかな」と困り顔だった。

線の高さほどになる場所もあった。五日から四回雪かきをしたという郵便配達員の五十代男性は「年末年始の大雪よりすごい。今日配達があったら大変だった。今年はこれで最後になってくれないかな」と困り顔だった。 JRは雪の影響で、北陸線の敦賀ー長浜、琵琶湖線の長浜ー米原、湖西線の近江今津ー近江塩津、東海道



自身の経験を語った大角総務課長(左)と城月専務理事(右)県庁で

女性管理職の悩み 業種を越えて共有

県が交流会

県は二日、県内企業の管理職の女性を対象に「滋賀の女性を元気にする異業種交流会」を県庁で開いた。多様な業種の十一人が会場に参加し、オンライン通話でも同時開催。企業や業種を越えて、管理職としての悩みや課題を共有した。 環境保全サービスマ「日吉」(近江八幡市)の大角浩子総務課長と、近畿健康管理センター(大津市)の城月祐子専務理事が、子育てしながら仕事を続けた経験を明かした。 大角課長は「当時は女性の管理職がおらず、相談できる人がいなかった」と振り返った。「社外の女性管理職とのつながりを持ち、信頼できる人をつくってほしい」と呼び掛けた。 城月専務理事は「子育てをしてから、優先順位を決めて業務に取り組むようになったことが、今も仕事に生きている」と話した。「十年ほど前は、仕事を必死に頑張らないといけない時代だったかもしれないが、今は仕事も人生も楽しむ自然体のリーダーが求められるのでは」と語った。(機部愛)

感染拡大防止対策に関する相談

▽県新型コロナ対策相談コールセンター (平日前9～後5) 077(528)1344

経営

▽県商工会連合会 (平日前8・30～後5・15) 077(511)1470
▽県中小企業団体中央会 (平日前8・30～後5・15) 077(511)1430
▽県信用保証協会 (平日前8・45～後5) 077(511)1321
▽日本政策金融公庫 (平日前9～後5) (0120)154505

労働

▽滋賀労働局 (平日前8・30～後5・15) 077(522)6648
▽県労働相談所 (平日正午～後4) (0120)967164 ※県内固定電話のみ
077(511)1402 ※携帯電話も可

▽県労働雇用政策課 (平日前8・30～後5・15) 077(528)3751

休業や失業などに伴う生活資金の問題

▽県社会福祉協議会 (平日前9～後5) 077(567)3920

家庭福祉

▽県子ども・青少年局家庭支援推進室 (平日前8・30～後5・15) 077(528)3554
▽県ひとり親家庭総合サポートセンター (平日、第1、第3土曜前9～後5) 077(526)8801

障害を理由とした差別や虐待での相談

▽県障害者権利擁護センター (平日前9～後5) 077(521)1175
メール ec0006@pref.shiga.lg.jp

こころの悩み

▽県立精神保健福祉センター (平日前9～後4) 077(567)5010

家庭の問題

▽児童相談所虐待対応ダイヤル 189
▽県子ども・子育て応援センター (前9～後9) 077(524)2030
24時間対応=(0120)078310

消費生活

▽消費者ホットライン 188
▽県消費生活センター (月一土の前9・15～後4、祝日は休み) 0749(23)0999

人権相談

▽新型コロナ人権相談ホットライン (月一水、金前10～正午、後1～4) 077(523)7700
▽みんなの人権110番 (平日前8・30～後5・15) (0570)003110
▽子どもの人権110番 (平日前8・30～後5・15) (0120)007110
▽外国語人権相談ダイヤル (平日前9～後5) (0570)090911

お断り 掲載した情報は、状況によって変更されることがあります。

雪かきしんどい

市民は疲れた様子で除雪作業をした。

大日午後六時時点で四十八時間降雪量が八九センチ達し、観測史上一位を更新した。同市天満では

六日午前、男性(左)が自宅車庫の屋根の雪下ろし作業中に転落した。米原署によると、男性は地面に後頭部を打ったが、意識はあり、命に別条はない。 JR米原駅周辺では、市

Table with 2 columns: 区別 (Road Type) and 件数 (Number of Incidents). Rows include 国道, 県道, 市道, 高速道路, 自動車道, バイパス, 新名神高速道路, その他.

Table with 2 columns: 区別 (Category) and 累計 (Cumulative Total). Rows include 人身事故総件数, 死者, 負傷者.

新型コロナくらしの情報

■受診 (受診・相談センター=24時間)

▽県相談窓口 077(528)3621
▽大津市保健所(大津市のみ) 077(526)5411
▽県PCR検査等無料化事業事務局 (日祝除く前9～後6) 080(5772)3561～3563

■ワクチン相談

▽副反応などの県相談窓口 (前9～後6) 077(528)3588
(他の時間帯) 077(528)3621

■その他感染症に関する相談 (一般相談窓口)

▽県相談窓口 (前8・30～後5・15) 077(528)3637
▽大津市保健所 (大津市のみ、平日前9～後5) 077(522)7228

■国・県・市町の各種支援策の案内

▽県行政書士会のワンストップ相談窓口 (前9～後5) 077(525)5670

中日新聞 2022.02.07